

# 星槎道都大学

令和2年度

## 大学教育の成果に関するアンケート調査 結果報告

I 卒業生に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

II 就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

2020年9月



I R 課

## 大学教育の成果に関するアンケート調査について

### 調査目的

平成 28 年度および平成 29 年度卒業生に対するアンケート調査を実施し、本学の教育の学習成果が上がっているかについて検証し、教育内容・方法の改善に資することを目的とする。

本調査は、Ⅰ卒業生に対するアンケート調査とⅡ卒業生の就職先へのアンケート調査からなり、学習成果を検討した。

## Ⅰ卒業生に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

### 1. 調査概要

#### (1) 調査方法

郵送依頼、WEB 回答または郵送回答。

#### (2) 調査実施時期

令和 2 年 8 月 11 日（火）～8 月 31 日（月）

#### (3) 調査対象

平成 28 年度および平成 29 年度卒業生

(平成 28 年 9 月卒業、平成 29 年 3 月卒業、平成 29 年 9 月卒業、平成 30 年 3 月卒業)

#### (4) 対象人数・回答数・回答率

発送数：266 人（戻り数 21、実対象人数 245 人）

回答数：29 人

回答率：10.9%（戻り数を考慮した実回答率：12.9%）

### 回答者の卒業年次別内訳

卒業年次	計	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
平成28年9月卒業生	2		1	1	
平成29年3月卒業生	16	6	6	1	3
平成29年9月卒業生	0				
平成30年3月卒業生	11	6	2	2	1
計	29	12	9	4	4

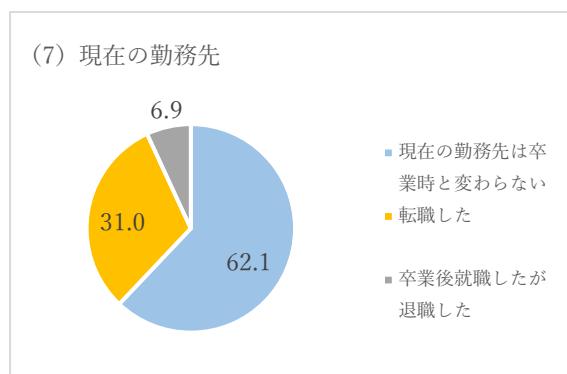
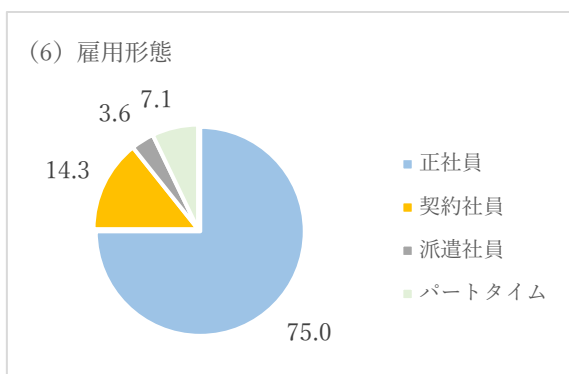
(5) 現在の職業（業種）

	人数	%	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
農業林業	3	10.3	2	1		
漁業	1	3.4			1	
建設業	3	10.3				3
製造業	2	6.9	1		1	
電気・ガス・熱供給・水道業	1	3.4				1
運輸・郵便業	1	3.4	1			
卸売・小売業	1	3.4	1			
金融・保険業	3	10.3	3			
宿泊・飲食サービス業	1	3.4	1			
教育・学習支援業	3	10.3		2	1	
医療・福祉	5	17.2	1	3	1	
サービス業（他に分類されない）	2	6.9	1	1		
公務＜国家・地方＞	2	6.9	1	1		
その他	1	3.4			1	
計	29	100.0	12	9	4	4

※その他は、主婦。

(6) 雇用形態

	人数	%	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
正社員	21	75.0	11	4	2	4
契約社員	4	14.3	1	2	1	
派遣社員	1	3.6		1		
パートタイム	2	7.1		1	1	
計	28	100.0	12	8	4	4



(7) 現在の勤務先について（転職について）

	人	%	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
現在の勤務先は卒業時と変わらない	18	62.1	10	4	1	3
転職した	9	31.0	2	3	3	1
卒業後就職したが退職した	2	6.9		2		
計	29	100.0	12	9	4	4

## 2. 集計結果

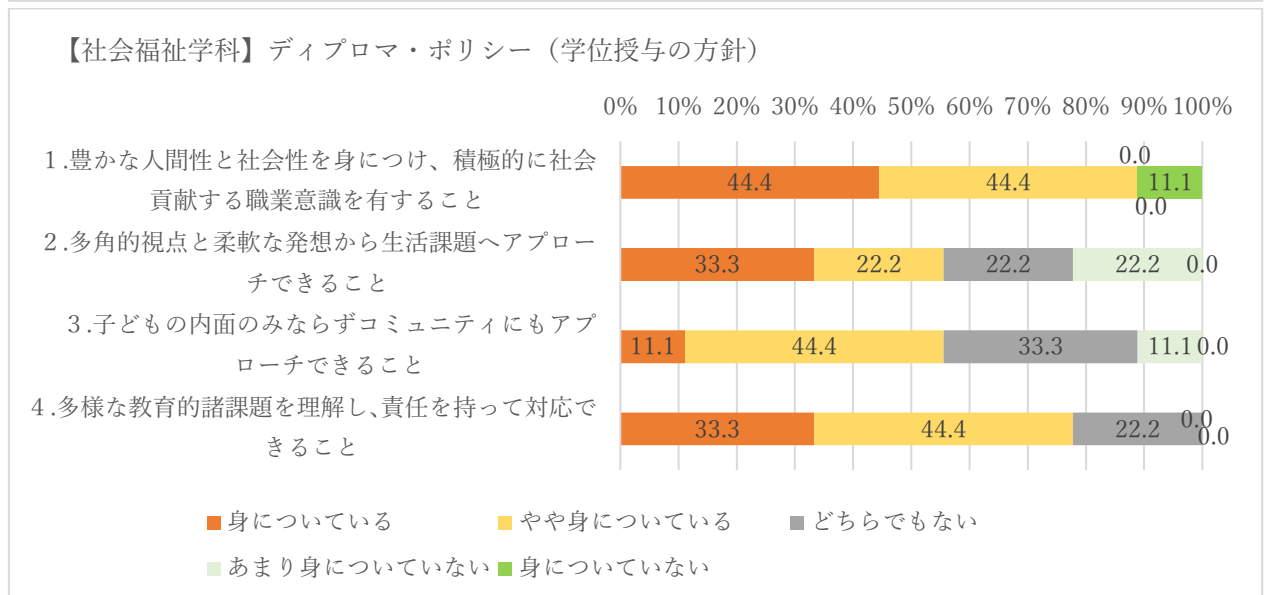
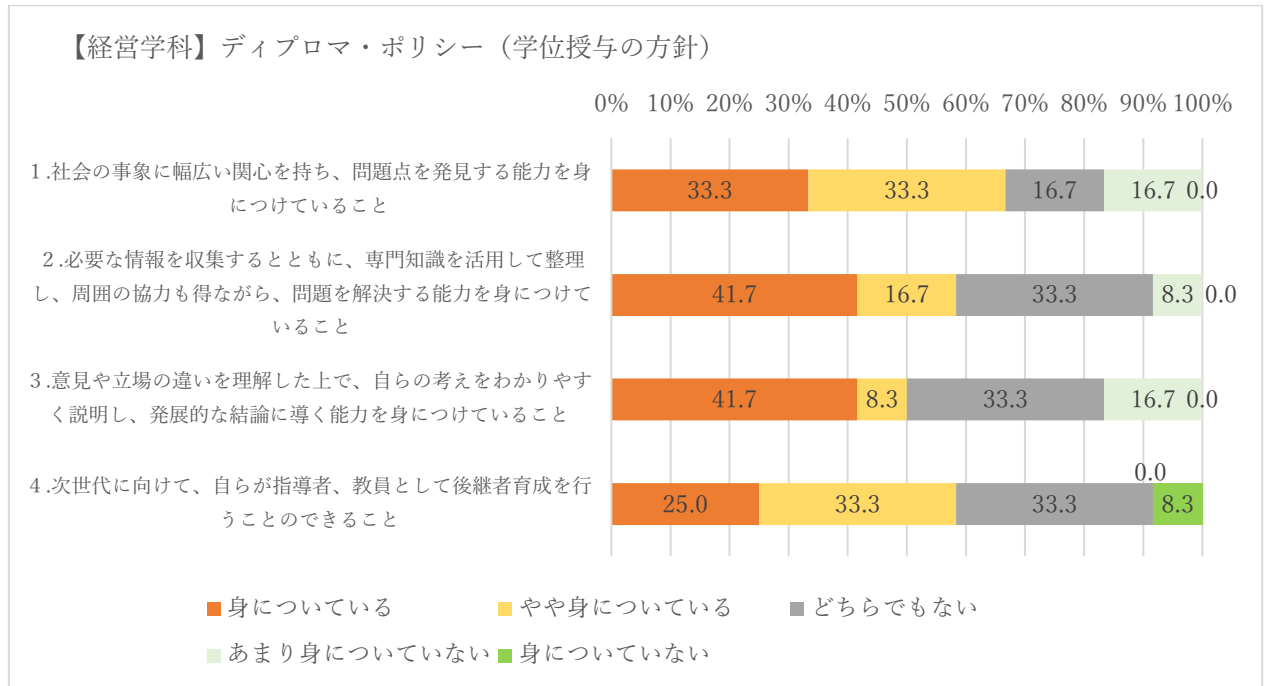
今回のアンケート調査項目は、下記の3点である。

問1. 本学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の自己評価

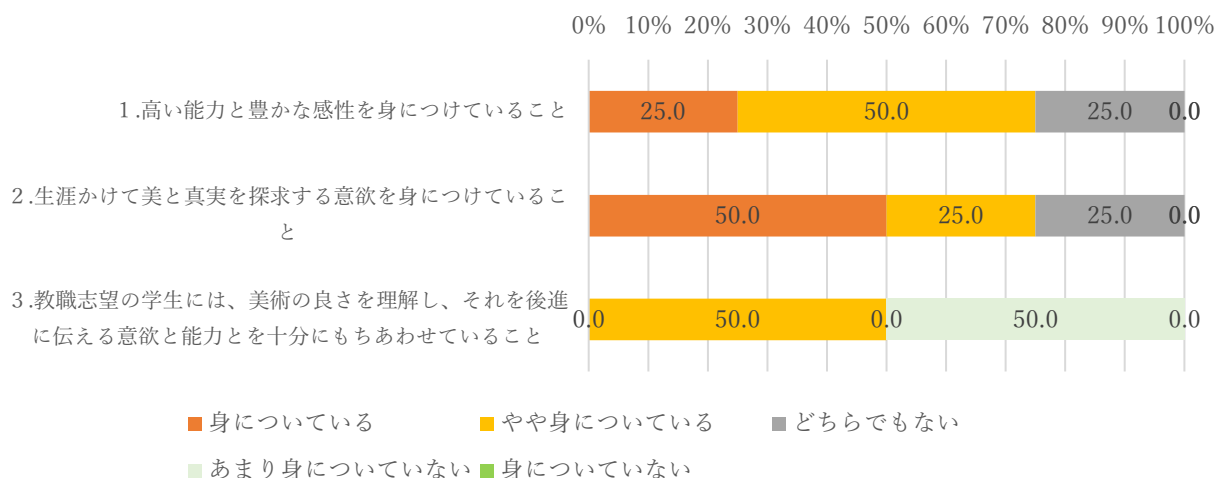
問2. 社会人基礎力の自己評価

問3. 本学に対する意見や要望

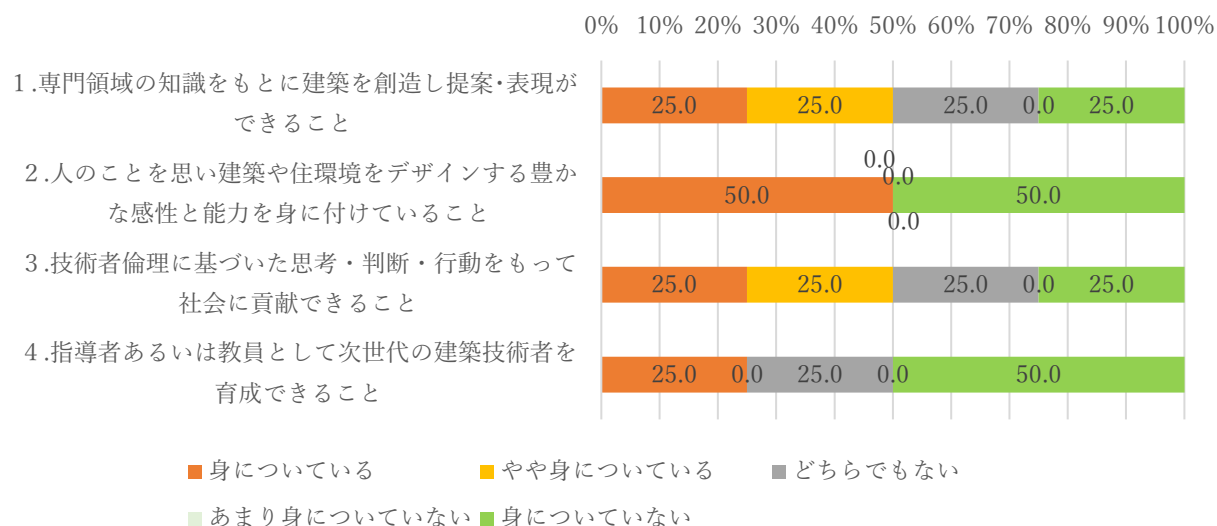
### 問1. 本学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の自己評価



【デザイン学科】 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

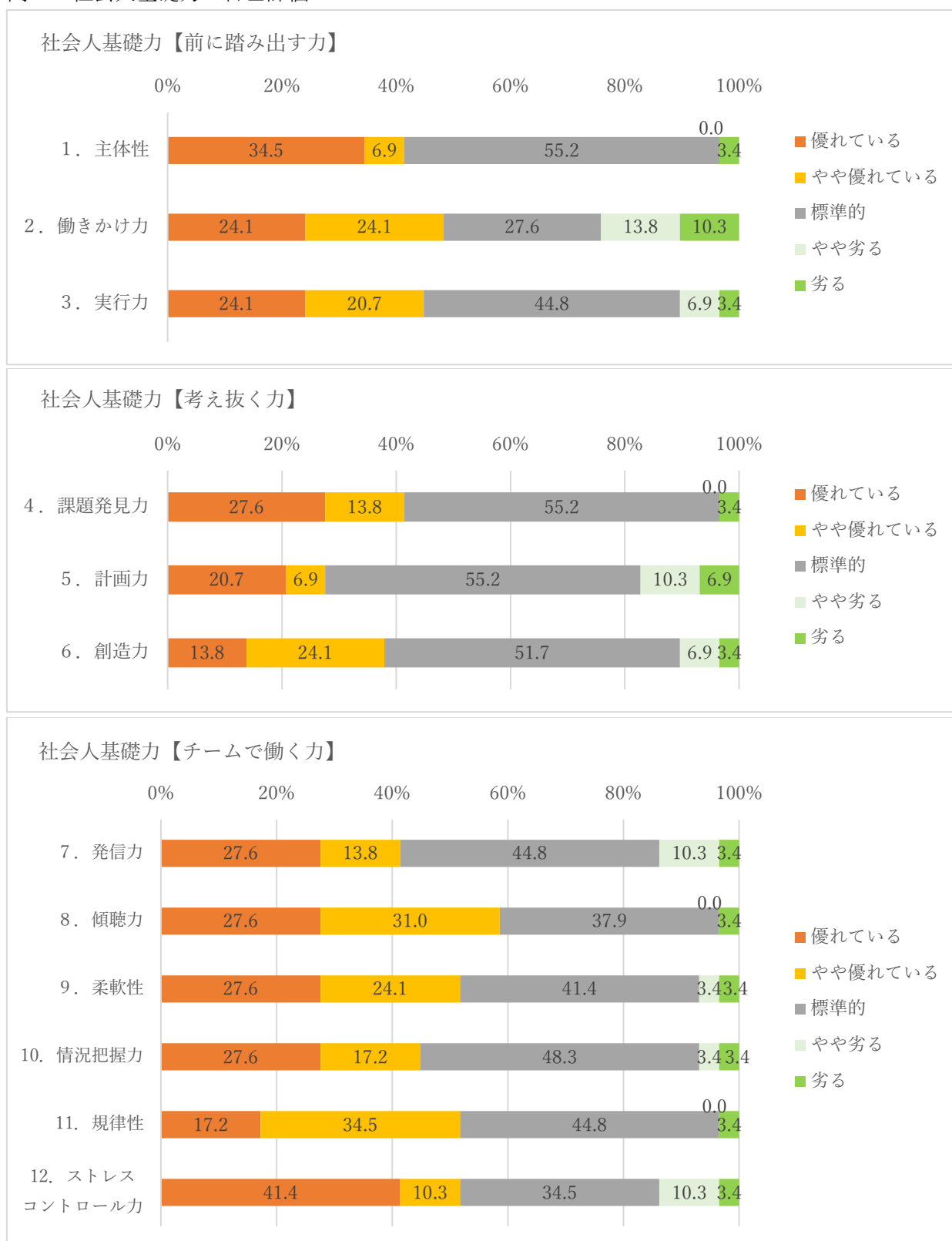


【建築学科】 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）



卒業後3～4年経過した卒業生に、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）が身につけて自己評価していただいた。「身につけている」と「やや身につけている」を暖色系、「あまり身につけていない」と「身につけていない」を寒色系、「どちらでもない」を灰色で表した。ほとんどのディプロマ・ポリシーで「身につけている」と「やや身につけている」の合計が50%以上であり、学習成果はあがっていることが分かる。建築学科の「4. 指導者あるいは教員として次世代の建築技術者を育成できること」のみ25.0%にとどまっている。建築学科の卒業生は、厳しい評価をしている。「身につけている」、「やや身につけている」と認識している卒業も多いが、他学科と違い「身につけていない」と答えている率が高い。2は、「身につけている」50.0%だが「身につけていない」も50.0%と両極端の結果となっている。

## 問2. 社会人基礎力の自己評価



卒業生の自己評価を見ると、標準的以上の回答者は、9割以上が9項目、8割以上が5項目、7割以上が1項目となっている。本学の卒業生は、社会人基礎力が標準的以上と自己評価している。【チームで働く力】が優れており、特に「8.傾聴力」と「9.柔軟性」・「11.規律性」・「12.ストレスコントロール力」が優れており、【考え抜く力】がやや弱い。

## II 令和2年度 星槎道都大学 就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

### 1. 調査概要

#### (1) 調査方法

郵送依頼、郵送回答

#### (2) 調査実施時期

令和2年8月11日(火)～9月7日(月)

#### (3) 調査対象

平成28年度および平成29年度卒業生の就職先企業等

#### (4) 対象数(発送数)・回答数・回答率

産業分類	発送数		回答数		在職者あり		在職者なし		回答率 (回答数/発送数)
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
A 農業林業	1	0.5%	1	1.3%	1	1.4%		0.0%	100.0%
D 建設業	15	7.6%	7	8.9%	6	8.7%	1	10.0%	46.7%
E 製造業	8	4.1%	2	2.5%	1	1.4%	1	10.0%	25.0%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.5%	0	0.0%		0.0%		0.0%	0.0%
G 情報通信業	7	3.6%	1	1.3%	1	1.4%		0.0%	14.3%
H 運輸・郵便業	11	5.6%	3	3.8%	3	4.3%		0.0%	27.3%
I 卸売・小売業	34	17.3%	13	16.5%	11	15.9%	2	20.0%	38.2%
J 金融・保険業	8	4.1%	1	1.3%	1	1.4%		0.0%	12.5%
K 不動産・物品賃貸業	18	9.1%	6	7.6%	5	7.2%	1	10.0%	33.3%
L 学術・専門・技術サービス業	4	2.0%	1	1.3%	1	1.4%		0.0%	25.0%
M 宿泊・飲食サービス業	7	3.6%	3	3.8%	2	2.9%	1	10.0%	42.9%
N 生活関連サービス・娯楽業	3	1.5%	2	2.5%	2	2.9%		0.0%	66.7%
O 教育・学習支援業	15	7.6%	11	13.9%	9	13.0%	2	20.0%	73.3%
P 医療・福祉	43	21.8%	18	22.8%	17	24.6%	1	10.0%	41.9%
Q 複合サービス事業	4	2.0%	3	3.8%	3	4.3%		0.0%	75.0%
R サービス業〈他に分類されない〉	6	3.0%	2	2.5%	1	1.4%	1	10.0%	33.3%
S 公務〈国家・地方〉	12	6.1%	5	6.3%	5	7.2%		0.0%	41.7%
合計	197	100.0%	79	100.0%	69	100.0%	10	100.0%	40.1%

産業分類は、厚生労働省の分類による。今回の調査では、B 漁業、C 鉱業、採石業、砂利採取業、T 分類不能の産業が調査対象外であった。

(5) 在職者数

ご回答いただいた企業（団体）の本学出身在職者数は次表の通りである。

在職者数（人）	事業者数	割合（％）
0	10	12.8
1～4	45	57.7
5～9	14	17.9
10～14	5	6.4
15～19	3	3.8
20～24	0	0.0
25～29	0	0.0
30～	1	1.3

※1社（事業所）が、在職者数非公表。

※在職者数には、調査対象年度以外の卒業生を含む。

平均在職者数：3.9人

在職者がいる事業所だけの場合 平均在職者数：4.5人

2. 集計結果

今回のアンケート調査項目は、下記の4点である。

問1. 本学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の評価

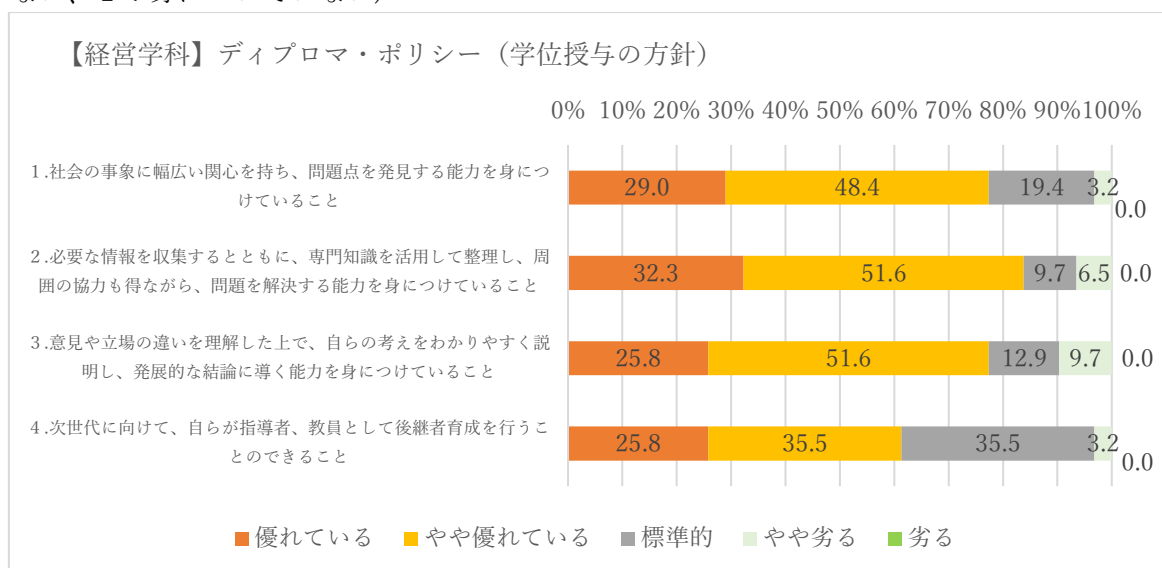
問2. 本学の卒業生に対する社会人基礎力の観点からの評価

問3. 社会人基礎力以外で役に立つ教育

問4. 本学に対する意見や要望

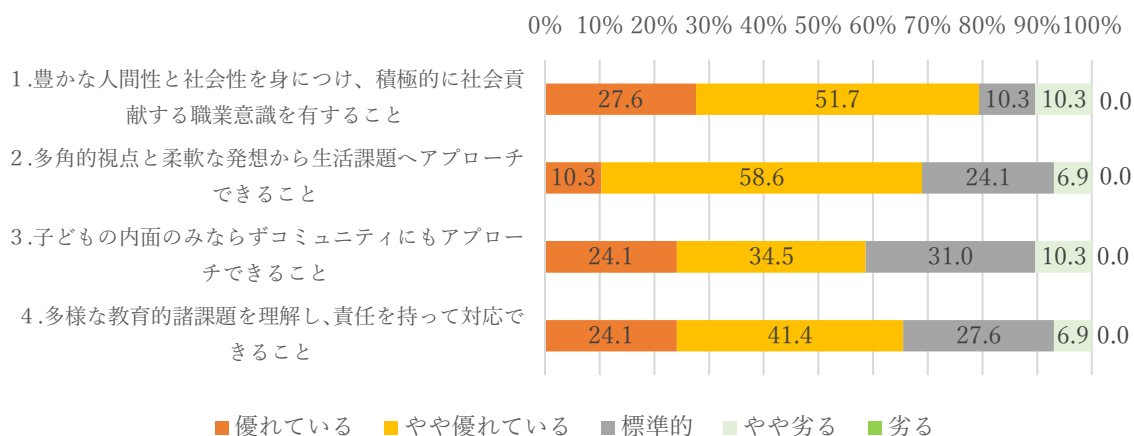
問1. 星槎道都大学では、平成25年度および平成26年度に入学した学生には、次のようにディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を定めています。本学卒業生は、それらが身につけていると思われませんか。

（5：身につけている、4：やや身につけている、3：どちらでもない、2：あまり身につけていない、1：身につけていない）

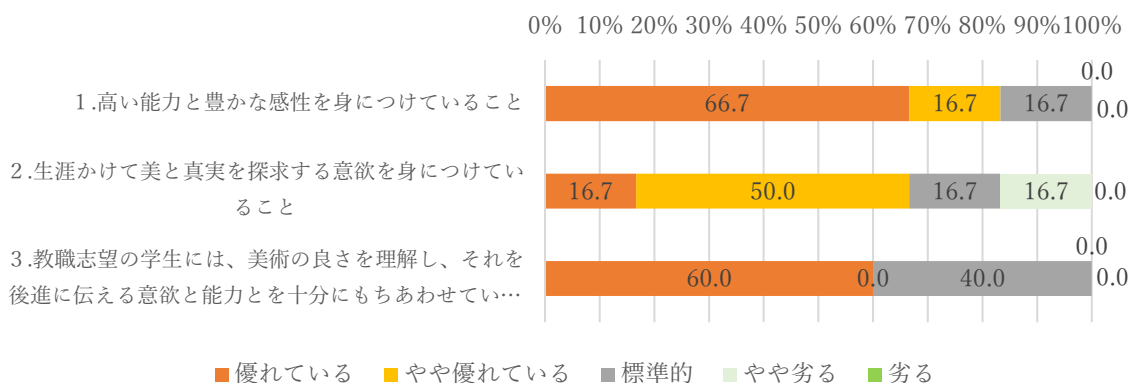




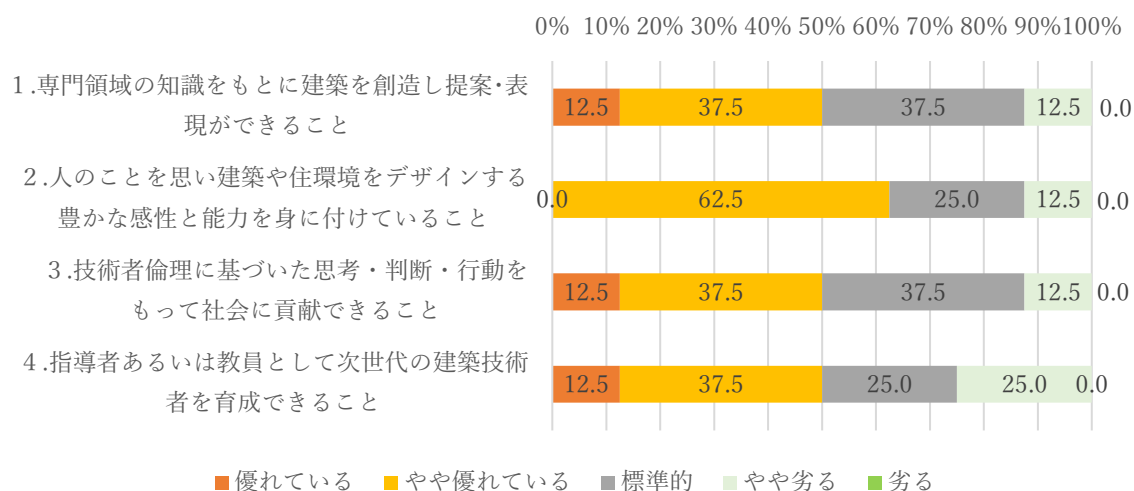
【社会福祉学科】ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）



【デザイン学科】ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）



【建築学科】ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

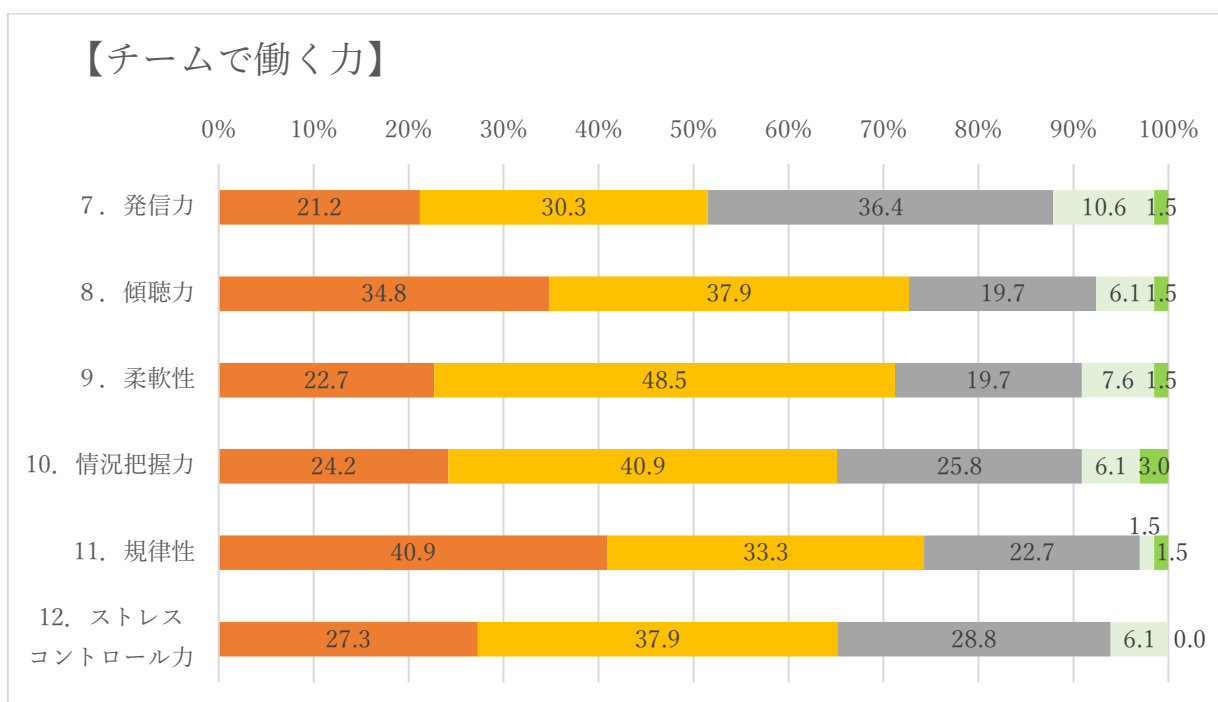
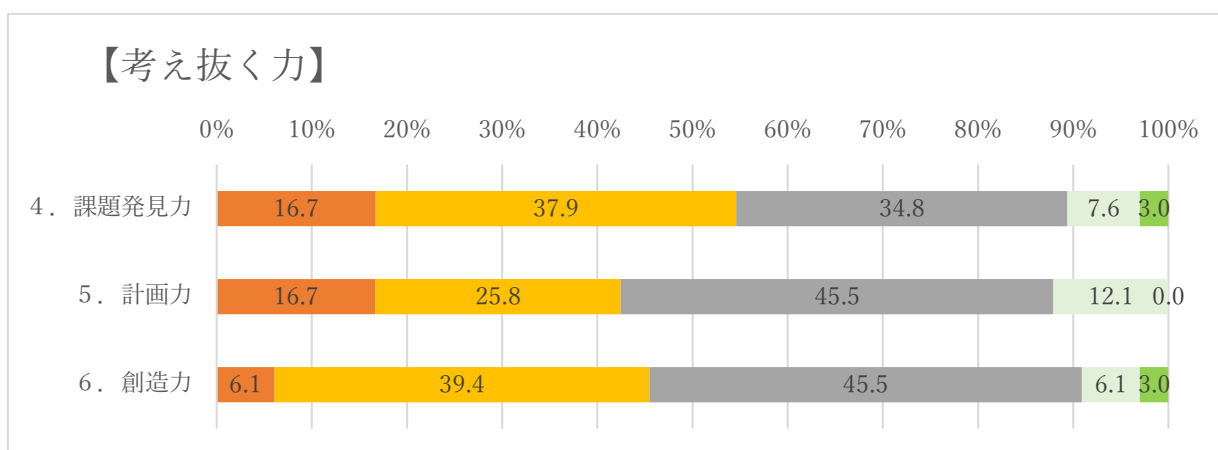
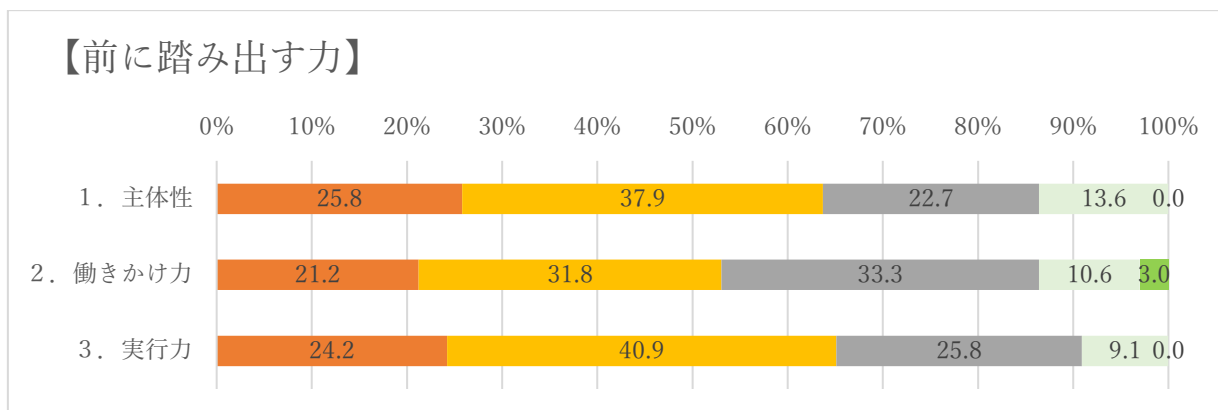


雇用者側からの評価は、全てのディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）で「優れている」と「やや優れている」の合計が50%以上となっている。全てのディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）は、標準的以上と評価されている（100%：2、9割以上：6、8割以上：6、7割以上：1）。

問2. 星槎道都大学出身者を他の社員（職員）と比較して社会人基礎力の観点から評価してください。

（5：優れている、4：やや優れている、3：標準的、2：やや劣る、1：劣る）

■：優れている、■：やや優れている、■：標準的、■：やや劣る、■：劣る



「チームで働く力」の「11. 規律性」40.9%、「8. 傾聴力」34.8%が「優れている」と高く評価されている。「優れている」と「やや優れている」の合計は、「11. 規律性」74.2%、「8. 傾聴力」72.7%、「9. 柔軟性」71.2%と高い。「考え抜く力」が少し弱い。「5. 計画力」と「6. 創造力」は、「優れている」と「やや優れている」の合計が50%を下回っている。「前に踏み出す力」と「チームで働く力」は、評価は高い。

### 【卒業生の自己評価と企業（団体）の評価の比較】

本学卒業生のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）と社会人基礎力の評価について見てきたが、両者に評価に違いがあるのか確認する。

優れている＝5、やや優れている＝4、標準的＝3、やや劣る＝2、劣る＝1とし平均を計算し、表にすると下記の通りとなる。卒業生の自己評価より会社（団体）の評価の方が高い。

	経営学科				社会福祉学科				デザイン学科				建築学科				前に踏み出す力		考え抜く力		チームで働く力						
	1. つけて いること	2. 周囲の 協力も 得ながら 、問題を 解決する 能力を身 につけて いること	3. 説明・意 見や立場 の違いを 理解した 上で、自 らの考え をわかり やすく	4. 次世代 に向けて 、自らが 指導者、 教員とし て後継者 育成を行 うこと	1. 豊かな 人間性と 社会性を 身につけ ること	2. 多角的 視点と柔 軟な発想 から生活 課題へア プローチ できるこ と	3. 子どもの 内面のみ ならずコ ミュニテ ィにもア プローチ できるこ と	4. 多様な 教育的諸 課題を理 解し、責 任を持って 対応でき ること	1. 高い能 力と豊か な感性を 身につけ ているこ と	2. 生涯か けて美と 真実を探 求する意 欲を身に つけてい ること	3. 教職志 望の学生 には、美 術の良さを 理解し、 それを後 進に伝え ること	1. 専門領 域の知識 をもとに 建築を創 造し提案 ・表現が できるこ と	2. 人のこ とを思い 建築や住 環境をデ ザインす る豊かな 感性と能 力	3. 技術者 倫理に基 づいた思 考・判断 ・行動を もって社 会に貢献 できるこ と	4. 指導者 あるいは 教員とし て次世代 の建築技 術者を育 成できる こと	1. 主体性	2. 働きか け力	3. 実行力	4. 課題発 見力	5. 計画力	6. 創造力	7. 発信力	8. 傾聴力	9. 柔軟性	10. 状況 把握力	11. 規律 性	12. スト レスコン トロール 力
卒業生 自己評価	3.8	3.9	3.8	3.7	4.1	3.7	3.6	4.1	4.0	4.3	3.0	3.3	3.0	3.3	2.5	3.7	3.4	3.6	3.6	3.2	3.4	3.5	3.8	3.7	3.6	3.6	3.8
会社(団体) 評価	4.0	4.1	3.9	3.8	4.0	3.7	3.7	3.8	4.5	3.7	4.2	3.5	3.5	3.5	3.4	3.8	3.6	3.8	3.6	3.5	3.4	3.6	4.0	3.8	3.8	4.1	3.9
差	▲0.2	▲0.2	▲0.1	▲0.1	0.1	0.0	▲0.1	0.3	▲0.5	0.6	▲1.2	▲0.2	▲0.5	▲0.2	▲0.9	▲0.1	▲0.2	▲0.2	0.0	▲0.3	0.0	▲0.1	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲0.5	▲0.1

問3 社会人基礎力以外でどのような教育が入社後に役立つと感じますか。

社会人基礎力は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」であり、新卒者は社会人基礎力を身に付けていることが必要であるが、実際に働く職場の企業状況によってさらに求めるスキルがあると思われる。ご意見の中から、キーワードを抜き出したのが下記の表である。

社会人基礎力にプラスして、入社後に必要な教育は、全産業共通なものがある一方、産業分類ごとや個別企業によって特色が出ている。

厚生労働省による産業分類	キーワード			
A 農業林業	やり遂げる力 (完遂力)			
D 建設業	挨拶や礼儀	一般常識		
D 建設業	求める心、願望を明確にする教育			
E 製造業	人とのつながり			
G 情報通信業	やり遂げる力 (完遂力)			責任感
H 運輸・郵便業	意味付け力			
H 運輸・郵便業	ビジネスマナー			
I 卸売・小売業	IT・PCへの理解力	アルバイトの経験		
I 卸売・小売業	パソコン技術 (ワード、エクセル、パワーポイント) の知識			
I 卸売・小売業	耐久力	適応力	指導力	
J 金融・保険業	コミュニケーション能力	ストレスマネジメント能力		
K 不動産・物品賃貸業	コミュニケーション力			
K 不動産・物品賃貸業	ストレスコントロール力			
K 不動産・物品賃貸業	PCスキルのアップ			
K 不動産・物品賃貸業	コミュニケーション力			
L 学術・専門・技術サービス業	メディアリテラシー教育			
M 宿泊・飲食サービス業	将来に向けた想像力 (グランドデザイン)			
N 生活関連サービス・娯楽業	基礎能力 (一般常識、税金知識等)			
N 生活関連サービス・娯楽業	協調性	組織戦略		
O 教育・学習支援業	素直さ			
O 教育・学習支援業	謙虚さ	素直さ		
O 教育・学習支援業	コミュニケーション力			
O 教育・学習支援業	交渉力			
O 教育・学習支援業	生徒や保護者、同僚に進んで発信し、かかわりをもつ態度			
P 医療・福祉	自信を持つ			
P 医療・福祉	国語力 (物事を正しく聞き取り、簡潔にまとめ伝えられる)		主体性	協調性
P 医療・福祉	「人」としての資質の高さ			
P 医療・福祉	責任性			
P 医療・福祉	大学卒業後1～2回内の受験で社会福祉士に合格できるような授業や教育			
P 医療・福祉	ホスピタリティマインド			
P 医療・福祉	コミュニケーション能力 (会話力・雑談力)			
P 医療・福祉	自ら考え行動	自ら意見を言う	優先順位	考えや行動の柔軟性
P 医療・福祉	情報収集力			
P 医療・福祉	何より社会人基礎力が大切			
R サービス業 (他に分類されないもの)	ディスカッション	結論を出す、結果を出す		
S 公務 (国家・地方)	責任感	職務遂行能力	報告・連絡・相談	コミュニケーション力
S 公務 (国家・地方)	地域づくり			

問4 星槎道都大学に対するご意見やご要望等がありましたらお書きください。

「引き続き本学学生を採用したい。」が多い。「コミュニケーション能力の向上と社会人として備えているべきマナーについては在学中に特に身につけておいてほしい。」「ディプロマ・ポリシーという下支えの観点で学生さんを育てている事を知り感銘しました。当職は殊更その視点が必要ですし、自らの人生と、自らの職能を育てて頂きたいと考えます。」「社会に出て、何をしたいか、どう生きたいか。目標を見つけて、挑戦し続ける力を養ってほしいと思います。」「今後とも社会で活躍できる社会貢献・公共心に秀でた人材の育成をお願いします。」等のご意見・ご要望が寄せられた。

以上

## 卒業生に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

※Q1～Q5は、選択肢の数字に○をつけてください。

Q1 卒業年次を教えてください。

1. 平成28年9月卒業生 2. 平成29年3月卒業生 3. 平成29年9月卒業生 4. 平成30年3月卒業生

Q2 所属していた学部・学科を教えてください。

1. 経営学部経営学科 2. 社会福祉学部社会福祉学科 3. 美術学部デザイン学科 4. 美術学部建築学科

Q3 現在の職業(業種)を教えてください。

1. 農業林業 2. 漁業 3. 鉱・採石・砂利業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業  
7. 情報通信業 8. 運輸・郵便業 9. 卸売・小売業 10. 金融・保険業 11. 不動産・物品賃貸業  
12. 学術・専門・技術サービス業 13. 宿泊・飲食サービス業 14. 生活関連サービス・娯楽業  
15. 教育・学習支援業 16. 医療・福祉 17. 複合サービス事業 18. サービス業 (他に分類されない)  
19. 公務 (国家・地方) 20. その他 ( )

Q4 現在職業についている方は、勤務先での雇用形態について教えてください。

1. 正社員 2. 契約社員 3. 派遣社員 4. パートタイム 5. その他 ( )

Q5 卒業後職業についた方は、勤務先について教えてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わらない 2. 転職した 3. 卒業後就職したが退職した

Q6 星槎道都大学では、平成25年度および平成26年度に入学した学生には、次のようにディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を定めています。それらは身についたと思われますか。

出身学科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に該当する評価に●をつけてください。

(5身につけている、4やや身につけている、3どちらでもない、2あまり身につけていない、1身につけていない)

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)		評価				
経営学科	1. 社会の事象に幅広い関心を持ち、問題点を発見する能力を身につけていること	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 必要な情報を収集するとともに、専門知識を活用して整理し、周囲の協力も得ながら、問題を解決する能力を身につけていること	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 意見や立場の違いを理解した上で、自らの考えをわかりやすく説明し、発展的な結論に導く能力を身につけていること	○5	○4	○3	○2	○1
	4. 次世代に向けて、自らが指導者、教員として後継者育成を行うことのできる事	○5	○4	○3	○2	○1
社会福祉学科	1. 豊かな人間性と社会性を身につけ、積極的に社会貢献する職業意識を有すること	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 多角的視点と柔軟な発想から生活課題へアプローチできること	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 子どもの内面のみならずコミュニティにもアプローチできること	○5	○4	○3	○2	○1
	4. 多様な教育的諸課題を理解し、責任を持って対応できること	○5	○4	○3	○2	○1
デザイン学科	1. 高い能力と豊かな感性を身につけていること	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 生涯かけて美と真実を探究する意欲を身につけていること	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 教職志望の学生には、美術の良さを理解し、それを後進に伝える意欲と能力とを十分にもちあわせていること	○5	○4	○3	○2	○1

<裏面に続く>

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）		評価				
建築 学科	1. 専門領域の知識をもとに建築を創造し提案・表現ができること	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 人のことを思い建築や住環境をデザインする豊かな感性と能力を身に付けていること	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 技術者倫理に基づいた思考・判断・行動をもって社会に貢献できること	○5	○4	○3	○2	○1
	4. 指導者あるいは教員として次世代の建築技術者を育成できること	○5	○4	○3	○2	○1

Q7 ご自身の社会人基礎力を評価してください。

該当する評価に●をつけてください。（5優れている、4やや優れている、3標準的、2やや劣る、1劣る）

※「社会人基礎力」とは、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として経済産業省が提唱している概念です。

能力評価（社会人基礎力）		評価				
前に 踏み 出す 力	1. 主体性 物事に進んで取り組む力 （例）指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力 （例）「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 実行力 目的を設定し確実に行動する力 （例）言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	○5	○4	○3	○2	○1
考え 抜く 力	4. 課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 （例）目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	○5	○4	○3	○2	○1
	5. 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 （例）課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。	○5	○4	○3	○2	○1
	6. 創造力 新しい価値を生み出す力 （例）既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	○5	○4	○3	○2	○1
チー ムで 働く 力	7. 発信力 自分の意見をわかりやすく伝える力 （例）自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	○5	○4	○3	○2	○1
	8. 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力 （例）相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	○5	○4	○3	○2	○1
	9. 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力 （例）自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	○5	○4	○3	○2	○1
	10. 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 （例）チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	○5	○4	○3	○2	○1
	11. 規律性 社会のルールや人との約束を守る力 （例）状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	○5	○4	○3	○2	○1
	12. ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力 （例）ストレスを感じるがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。	○5	○4	○3	○2	○1

Q8 星槎道都大学に対するご意見やご要望等がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

## 就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

Q1 貴社(団体)名をご記入願います。

企業名：
------

Q2 貴社(団体)に勤務する 星槎道都大学出身者 の人数について、おわかりになる範囲でご記入ください。

人
---

Q3 星槎道都大学では、平成25年度および平成26年度に入学した学生には、次のようにディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を定めています。本学卒業生は、それらが身につけていると思われますか。

該当する評価に●をつけてください。

(5身につけている、4やや身につけている、3どちらでもない、2あまり身につけていない、1身につけていない)

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)		評価
経営学科	1. 社会の事象に幅広い関心を持ち、問題点を発見する能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 必要な情報を収集するとともに、専門知識を活用して整理し、周囲の協力が得ながら、問題を解決する能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 意見や立場の違いを理解した上で、自らの考えをわかりやすく説明し、発展的な結論に導く能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	4. 次世代に向けて、自らが指導者、教員として後継者育成を行うことのできる事	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
社会福祉学科	1. 豊かな人間性と社会性を身につけ、積極的に社会貢献する職業意識を有すること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 多角的視点と柔軟な発想から生活課題へアプローチできること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 子どもの内面のみならずコミュニティにもアプローチできること。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	4. 多様な教育的諸課題を理解し、責任を持って対応できること。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
デザイン学科	1. 高い能力と豊かな感性を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 生涯かけて美と真実を探究する意欲を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 教職志望の学生には、美術の良さを理解し、それを後進に伝える意欲と能力とを十分にもちあわせていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
建築学科	1. 専門領域の知識をもとに建築を創造し提案・表現ができること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 人のことを思い建築や住環境をデザインする豊かな感性と能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 技術者倫理に基づいた思考・判断・行動をもって社会に貢献できること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	4. 指導者あるいは教員として次世代の建築技術者を育成できること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1

Q4 星槎道都大学出身者を他の社員(職員)と比較して社会人基礎力の観点から評価してください。  
 該当する評価に●をつけてください。(5優れている、4やや優れている、3標準的、2やや劣る、1劣る)  
 ※「社会人基礎力」とは、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として  
 経済産業省が提唱している概念です。

能力評価(社会人基礎力)		評価
前に 踏み 出す 力	1. 主体性 物事に進んで取り組む力 (例) 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力 (例) 「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 実行力 目的を設定し確実に行動する力 (例) 言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
考え 抜く 力	4. 課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 (例) 目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	5. 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 (例) 課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	6. 創造力 新しい価値を生み出す力 (例) 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
チ ー ム で 働 く 力	7. 発信力 自分の意見をわかりやすく伝える力 (例) 自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	8. 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力 (例) 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	9. 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力 (例) 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	10. 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 (例) チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	11. 規律性 社会のルールや人との約束を守る力 (例) 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	12. ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力 (例) ストレスを感じるがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1

Q5 社会人基礎力以外でどのような教育が入社後に役立つと感じますか。

Q6 星槎道都大学に対するご意見やご要望等がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。